

今、輝いている人

(特) 茅野市スポーツ協会ではスポーツを前向きに頑張っている方の貴重な体験談と熱い感動をお伝えします。

地球温暖化とスケート

茅野市スケート協会
大久保 次朗

私が若かった頃、「暖冬」と言われた気象変動が、近年は「地球温暖化」と云う言葉に変わり、冬場のスケートをとりまく環境が大きく変わって来ました。当時はどの村にも田んぼリンクがあり、スケートが盛んに行われていて小学生の冬の遊びと言えば結氷した田んぼに集まって朝夕田んぼリンクで滑り遊び廻る事でした。

今、地球温暖化が田んぼや校庭リンクの天然氷のスケートリンクを消し去り、スケート人口は年々減少し続けています。

今まで茅野市が誇りにして来た「オリンピック選手の数多い輩出を途絶えさせてはいけない！」と思いを込めて底辺の拡大と選手育成を続けているスケート協会で、私達シニアスケートクラブ員も小学生の初心者指導に向けたボランティア活動を全力で展開し続けています。

厳冬の氷上に子供たちの笑顔と歓声が響きわたり、一緒に滑る私たちも夢追い続けた若き時代の滑走を胸に描きつつ「何時の日かこの子たちの中から世界に羽ばたく選手が出現して欲しい！」と願い、夢見る季節の訪れを待っています。



目標に向かって

茅野市柔道協会
永明小学校二年
北野 光流

柔道は、全身を使って相手を倒すスポーツです。練習で前転・後転は目がまわるのでいやだけど、「けんけんすも」は楽しいです。

今は「大外がりと」「大内がりの二つの技ができて」体

落とす」の練習中です。コロナウィルスのえいきょうで試合がいつできるかわからないけれど、次の試合までに「背負い投げ」ができるようになりたいです。そして、いつか「ともえ投げ」もできるようにになりたいです。なぜなら、カッコいい技だと思うからです。

そのために、毎回練習に行き、大きな声を出して、たくさんがんばろうと思います。

背負い投げの練習

茅野市柔道協会
玉川小学校四年
雁木 鉄士

ぼくは、柔道をやっています。柔道始めた理由は、お兄ちゃんがやっていたからです。最初は、ちよつとふざけてやっていたけど、背負い投げを頑張っています。練習の乱捕りの時は、背負い投げができるのに、大会の時は、いっつもできないので、できるようになりたいです。背負い投げは、最初の一步は、入りやすいため深く入りすぎってしまうので、そういうところを直したいです。あと、釣手を上



柔道をやって感じたこと

茅野市柔道協会
東部中学校二年
雁木 雄鉄

僕は、小学校五年生から柔道を始めました。

柔道は、礼で始まり、礼で終わると言われる位、「礼」を大切にしています。今まで気にしないでとっていた行動を改め、礼儀正しい行動をとるよう心がけるようになりました。そうしたら、回りの人達から誉められたりして、う

れしい気持ちになりました。どんな時も礼儀を忘れず、あたりまえに出来るようにしていきたいと思えます。この気持ちをお忘れずに、毎日を通じていきたいと思えます。

ソフトテニス役員として

ソフトテニス協会
清水 貴子

茅野市ソフトテニス協会は、現在会員数61名、20〜80歳代までの老若男女がソフトテニスを楽しんでいます。私は総務広報の担当として、月1回広報の発行、協会主催のイベント、大会やコート管理などの裏方としての役も担っています。昨年、テニスコートの大規模改修工事が行われ、風による粉塵が抑えられた衛生的な環境で、足腰に負担が掛からず、透水性も良く、雨あがりでも直ぐにプレイ出来る素晴らしいコートになりました。さらに、4月から通年券が復活し利用しやすくなりました。しかしコロナ禍で約2カ月間コート使用が出来ずとても寂しい思いをしました。また通年券が早朝時間帯に使

えないのが課題となっていました。何十年と通っているメンバーも同じ協会の仲間。早朝も通年券を利用可能にして欲しいと強い要望がありました。窓口と交渉し、早朝使用規約を作成し、6月から利用可能になりました。さて、こんな素敵なコートでぜひ一緒にプレイしませんか？生涯スポーツとして長く楽しめると思っています。お待ちしております。

「地域と共に」

宮川スポーツ協会
小平 正八

宮川スポーツ協会の発足は1990年11月です。今年で満30年の節目を迎えます。そしてその前身は古く、1949年宮川体育協会を結成したことから始まります。実に70年を超えるという、伝統を持つています。村民運動会、スケート大会、各種球技大会、晴ヶ嶺マラソン大会などがありました。

現在の宮川スポーツ協会の活動のメインは、春秋のマレットゴルフ大会。宮川地区の住民を対象にどなたでも参加することが出来ます。道具の



ない方も市の道具をお借りしてプレイできます。宮川コミユニティの行事にも参加します。

そしてもう一つが市総合体育大会における「14インチ健康スローピッチソフトボール大会」です。名前の通り、健康、安全に配慮し老若男女幅広く、交流、楽しむことができます。チームに所属してなくても、一人で来て頂いても、混合チームのメンバーになることができます。今年が第15回目を迎えます。

棒高跳とともに

茅野市陸上競技協会
田中 米人

中学校で、陸上スケート部に入部した。もっぱら砂場で走高跳（ベリーロール、ロールオーバー）や三段跳をやつて遊んでいた。100mハドルや1500mの試合に出場することもあった。

高校では、スケート部。本格的に陸上競技に取り組んだ。？のは、信州大学入学後になる。最初は、長距離ブロックで5000mや3000m障害に出場した。2年生から棒高跳と110m・400mハードル、十種競技に取り組んだ。卒業後もそれらの試合に参加したり、フルマラソンにも参加した。

35歳の時、マスターズ陸上競技に参加するようになった。かれこれ、30年。全国大会へは



20回ほど参加し、優勝2回を含み3位以上が12回を数えた。勤務の関係で、長野市から茅野市に戻って16年、中学校で陸上部を指導するのに並行し、茅野アスリートクラブで棒高跳などを指導してきた。全国大会に参加・活躍する選手も棒高跳だけでなく数多く（10人を超えた）育った。クラブ出身者が、教員となり陸上を指導するようになり、時の流れを感じるこの頃である。全国各地の指導者の皆さんや選手の方々との再会も楽しみでもある。

本年度の大会は軒並み中止か延期。来年5月実施予定の「ワールドマスターズゲームズ2021関西」への参加に思いを馳せながらトレーニングに励もうと考えている今日この頃です。いつまでも、棒高跳を楽しめるからだからと、